

はばたけ 21世紀

いきいき男女共同参画

人権政策課男女共同参画係

電話：0269-62-3111

FAX：0269-62-5990
(内線 371)E-mail：
jinken@city.iijama.nagano.jpいきい女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543E-mail：
center-mirai@city.iijama.nagano.jp13.7
No.144

壁は意外と高くない！

男女共同参画週間・いいやま女性センター未来文化講演会より

元石川県議会議員の広岡立美さんを講師に「女なら二足のわらじ」と題して講演会が開催されました。要旨は次のとおりです。

■女の子は素直であればいい？

古い町並みが残っている金沢の城下町で三姉妹の末っ子として、女の子は素直であればいいと育てられた。中学の同級生、広岡守穂※と学生結婚し東京へ。5人の子育てをする中で、安全な食べ物、環境について考えるようになった。大切な子どもを守るため、社会が変わった方がいいなという思いと、黙っていたら変わらない、おかしいものはおかしいと声を出さないといけないと思った。しかし、子育てしながらだったので、悶々とする時期もあった。



△講演する広岡立美さん

■自分の名前を取り戻す！

自分が一番変わったのは、大病をしてから。原因がわからず、家族は最悪のこととも考えたが、ステロイドを投与し良くなり、生きていることの素晴らしさを感じる生き方をしたいと思うようになった。その後一年間、夫の海外での在外研究があり、留守の間、自分が子どもの保護者として、「広岡立美」と自分の名前を書き、広岡さんの奥さん、〇〇ちゃんのお母さんから、自分の名前を取り戻し、社会とのつながりが出来た感じがした。夫に依頼のあった仕事を自分がやらせてもらい、自信にもなった。

■自分育て！

40代後半、家族の介護で金沢へ転居し、自宅でサロンを始め、話をする場を作った。

社会に対して、生き辛さを感じていた時、いろいろな分野で活動している女性たちを知り、そういう女性たちをつなげていく「家族とくらし」という女性の自分育てを応援するミニコミ誌を作った。

県会議員にという誘いがあり、暮らしの声を届けたいと思い立候補した。子どもたちも、「賛成ではないけれど、お母さんがやりたいのなら」と応援してくれた。

■若い女性も議員になって！

最初は、自分の言葉が議会の中で通じず悩んだが、議員らしい議員になることではなく、自分の思いを自分の言葉で伝える。障害のある子のお

母さんの思い、病児保育のこと、食育の大切さなど伝え、少しずつ変わってきた。若い女性も職業の一つと思い、議員をやってほしいと思う。

■壁は高くない！

女性の声が自然に生かされるのが大事で、女性が男性にとつて代わるのではない。女性が能力を発揮する場ができる、社会にとつてもプラスになる。女性が少ないと、社会の中で大事にされるものが偏ってしまうと思う。一人ひとりが暮らしやすくなるのが大切です。どんなことも自分が一歩踏み出すチャンスととらえて、やってみると壁は意外と高くないものです。

■住んでみたいと思う町に！

飯山も新幹線が開業すれば、金沢との交流が始まります。お互いに、ここに住んでいたいと思うようなまちづくりをしていきたい。

【参加者の感想より】

◇長野市から嫁いで3年目。二人の娘がいます。子育ては大変ですが、子育てが落ち着いたら社会へまた参加できるように頑張ろうと思いました。(20代女性)

◇おかしいと思うことはおかしいと言つ。自分の思いを自分の言葉で話すこと…印象に残りました。(60代女性)

©段丹映子 無断転用を禁ず
素朴な質問！※広岡守穂さん 中央大学教授
2004年7月、『妻が僕を変えた日』と題して、飯山市で講演されました。

女性の視点を活かしたまちづくり

・地域づくりミーティング

第1回ミーティング開催

この女性の視点を活かしたまちづくり・地域づくりミーティングは、新幹線飯山駅開業を控えた今、飯山市の特長をさらにアピールするために、女性の視点や感性を活かしたまちづくりを行う必要があるとの観点で計画しました。

6月20日(木)開催の初回は、まず参加者が日頃感じていること、思っていることをそれぞれ話していただきました。会議は、全員で9人とやや少なかったのですが、参加者からは次のような意見が出されました。

まちづくりについて、「回遊性」というが実体がないのではないか。

飯山市のひとつの目玉を作るという意味では、「福祉的な施設」や「子育て」も挙げられるのではないか。特に「子育て」は人口増の施策として大切。

人づくりも大切。

女性の視点を活かした
まちづくり・地域づくり
ミーティング

新幹線飯山駅開業を目前に、飯山市では様々なまちづくりが進められています。

「住んでいる人は誇りを感じ、訪れた人は魅了される」

そんなまちを作るためには、女性の感性を活かすことが不可欠です。飯山を見直し、考え、語り合いながら、これからの飯山をみんなで創造しませんか。

参加者追加募集しています！

ミーティング内容

- ① 6月20日(木) 17:30～19:00【懇談会】
- ② 7月20日(土) 9:30～16:00【市内視察】(バス利用)
- ③ 9月 7日(土) 9:30～15:00【町内視察・学習会】
- ④ 10月19日(土) 13:30～16:00【中間検討会・中間報告】
- ⑤ 11月(未定) 【編集会議】
- ⑥ 2月(未定) 【行政懇談会】

.....
お問い合わせ：いいやま女性センター未来 (62-0543)

菜の花はきれいだか、いつでも花が咲いていることが理



想。河川敷一帯などで、季節ごとに違う花を咲かせてみてはどうか。

伝統野菜ツアーや、テーマーツーリズムも必要など、様々な意見が出されました。次回からは、実際に現地に出かけ、具体的な提案を出していただき、集約していきたいと考えています。身近な場所でも、実際に訪れてみるとすばらしい場所の再発見や、手を加えれば

もつと魅力的になると思う場所が、飯山には沢山あると思います。

途中からの参加も大歓迎です。日頃感じていることを話してみませんか。

日商簿記

3級講座開講

去る6月17日(月)、日商簿記3級検定講座が開講になりました。

今年の受講生は6名と、若干少なめですが、先生から一人ひとり丁寧に指導を受けることが出来ます。



受講生は11月に実施される検定受験に向け、熱心に勉強中です。